

平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 株式会社 エリアクエスト
 コード番号 8912 URL <http://www.area-quest.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清原 雅人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 伊藤 真奈美
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 03-5155-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	279	—	△16	—	△16	—	△21	—
20年6月期第1四半期	312	△13.6	△31	—	△31	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	△99.45	—
20年6月期第1四半期	△109.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第1四半期	1,041	807	77.5	3,798.31
20年6月期	1,073	849	79.1	3,996.25

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 807百万円 20年6月期 849百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	582	—	2	—	1	—	0	—	0.47
通期	1,200	18.1	54	—	51	—	50	—	235.28

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 225,000株 20年6月期 225,000株
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 12,489株 20年6月期 12,489株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 212,511株 20年6月期第1四半期 213,115株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国の景気後退、原油価格上昇及びサブプライム問題などの影響が懸念され、景気の先行きに不透明感が増してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは不動産ソリューション事業を主たる事業とし、リーシング部門及びP/M関連部門それぞれの事業間で相乗効果をあげながら事業展開を行ってまいりました。

当第1四半期連結会計期間においては、前期より継続して実施してまいりました固定費の抑制により、前年同期比で直接売上原価を除いた売上原価25百万円の減少、販売管理費が24百万円の減少と順調にコスト削減を図ってまいりました。結果、大幅に赤字幅の減少を実現してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高279百万円（前年同期比10.5%の減少）、営業損失16百万円（前年同期は31百万円の営業損失）、経常損失16百万円（前年同期は31百万円の経常損失）、当第1四半期純損失は21百万円（前年同期は23百万円の純損失）となりました。

部門別の概況は以下の通りであります。

①不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、依然、厳しい状況が続く中で、プロパティマネジメント事業のビルメンテナンス業務売上が順調に業績を伸ばしてまいりました。また、仲介売上においては、店舗物件においては、各企業の店舗のスクラップ等により仲介案件の依頼が大幅に増加してまいりました。

この結果、売上高は267百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

②その他の事業

当第1四半期連結会計期間においては、営業投資有価証券の売却を一部行いました。

この結果、売上高は12百万円（前年同期は売上高はありません）となりました。

※前年同期比は参考数値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べて31百万円減少いたしました。主な減少は現金及び預金の減少及び投資有価証券の減少であります。負債は10百万円増加いたしました。主な減少は長期借入金の減少であります。また、純資産は自己株式の増加及び第1四半期純損失の計上により利益剰余金が減少し42百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少となり176百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は27百万円（前第1四半期連結会計期間は41百万円の獲得）となりました。これは、売上債権等の増加39百万円及び税金等調整前第1四半期純損失20百万円、減価償却費の計上21百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17百万円（前第1四半期連結会計期間は27百万円の使用）となりました。これは無形固定資産の取得による支出9百万円及び有形固定資産の取得4百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は24百万円（前第1四半期連結会計期間は57百万円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出24百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間につきましては、概ね予想どおりに推移しております。今後の業績については、仲介部門におけるテナントニーズの鈍化が見られるものの、仲介案件の大幅な増加により、売上は順調に推移していくと考えております。平成20年8月12日に発表しました連結の業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	176,818	246,091
売掛金	99,072	59,592
営業投資有価証券	88,788	88,788
その他	38,825	36,427
貸倒引当金	△990	△990
流動資産合計	402,514	429,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	144,876	144,876
減価償却累計額	55,425	51,867
建物及び構築物(純額)	89,450	93,008
工具、器具及び備品	245,998	239,052
減価償却累計額	187,019	182,833
工具、器具及び備品(純額)	58,979	56,218
機械装置及び運搬具	24,335	24,335
減価償却累計額	17,388	16,787
機械装置及び運搬具(純額)	6,946	7,548
土地	32	32
有形固定資産合計	155,408	156,807
無形固定資産		
ソフトウェア	98,467	95,768
その他	2,342	2,342
無形固定資産合計	100,809	98,111
投資その他の資産		
投資有価証券	138,508	172,914
敷金及び保証金	103,086	94,526
長期前払費用	1,002	1,499
保険積立金	63,119	56,429
繰延税金資産	23,432	9,067
その他	63,797	63,897
貸倒引当金	△9,800	△9,800
投資その他の資産合計	383,147	388,535
固定資産合計	639,365	643,454
資産合計	1,041,879	1,073,364

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,123	23,071
1年内返済予定の長期借入金	78,350	86,600
未払金及び未払費用	87,375	66,938
未払法人税等	1,068	4,211
その他	4,278	4,896
流動負債合計	212,197	185,717
固定負債		
長期借入金	14,500	30,400
その他	8,000	8,000
固定負債合計	22,500	38,400
負債合計	234,697	224,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	991,100	991,100
資本剰余金	418,976	418,976
利益剰余金	△324,860	△303,725
自己株式	△243,892	△243,892
株主資本合計	841,323	862,458
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△34,140	△13,211
評価・換算差額等合計	△34,140	△13,211
純資産合計	807,182	849,246
負債純資産合計	1,041,879	1,073,364

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	279,594
売上原価	164,455
売上総利益	115,139
販売費及び一般管理費	
役員報酬	18,550
給料	12,480
法定福利費	3,591
求人費	3,905
減価償却費	21,527
地代家賃	5,528
広告宣伝費	17,222
通信費	5,039
旅費及び交通費	3,261
支払手数料	11,047
顧問料	4,266
業務委託費	7,203
その他	18,289
販売費及び一般管理費合計	131,912
営業損失(△)	△16,773
営業外収益	
受取利息	232
受取配当金	480
その他	332
営業外収益合計	1,045
営業外費用	
支払利息	608
営業外費用合計	608
経常損失(△)	△16,336
特別利益	
投資有価証券売却益	231
特別利益合計	231
特別損失	
投資有価証券売却損	4,492
特別損失合計	4,492
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,597
法人税、住民税及び事業税	537
法人税等合計	537
四半期純損失(△)	△21,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△20,597
減価償却費	21,583
受取利息及び受取配当金	△712
支払利息	608
投資有価証券売却益	△231
投資有価証券売却損	4,492
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,480
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,052
その他	△7,002
小計	△23,288
利息及び配当金の受取額	712
利息の支払額	△608
法人税等の支払額	△4,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,780
無形固定資産の取得による支出	△9,440
貸付金の回収による収入	100
その他	△3,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△24,150
配当金の支払額	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,230
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△69,273
現金及び現金同等物の期首残高	246,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	176,818

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	不動産ソリューション事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	267,594	12,000	279,594	—	279,594
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	267,594	12,000	279,594	—	279,594
営業利益又は営業損失 (△)	74,680	8,199	82,879	△99,653	△16,773

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 不動産ソリューション事業……プロパティマネジメント事業、アウトソーシング事業
- (2) その他の事業……経営コンサルティング事業、投資事業

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		312,487	100.0
II 売上原価		187,742	60.1
売上総利益		124,744	39.9
III 販売費及び一般管理費		156,384	50.0
営業損失 (△)		△31,640	△10.1
IV 営業外収益			
1. 受取利息	414		
2. 有価証券利息	500		
3. その他	845	1,759	0.6
V 営業外費用			
1. 支払利息	1,090		
2. その他	63	1,154	0.4
経常損失 (△)		△31,034	△9.9
VI 特別利益			
1. 投資有価証券売却益	12,023		
2. 固定資産売却益	652		
3. 貸倒引当金戻入益	3,690	16,366	5.2
VII 特別損失			
1. 投資有価証券評価損	1,469		
2. 和解金	1,000	2,469	0.8
税金等調整前第1四半期純損失 (△)		△17,138	△5.5
法人税、住民税及び事業税	9,043		
法人税等調整額	△2,661	6,382	△2.0
第1四半期純損失 (△)		△23,520	△7.5

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純損失(△)	△17,138
減価償却費	29,519
のれん償却額	9,588
貸倒引当金の増減額	△3,690
受取利息及び受取配当金	△414
支払利息	1,090
固定資産売却益	△652
投資有価証券評価損	1,469
投資有価証券売却益	△12,023
売上債権の増減額	19,192
仕入債務の増減額	△13,213
その他	32,190
小計	45,918
利息及び配当金の受取額	414
利息の支払額	△1,090
法人税等の支払額	△3,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,852
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△585
有形固定資産の売却による収入	2,666
無形固定資産の取得による支出	△250
投資有価証券の取得による支出	△79,859
投資有価証券の売却による収入	60,450
役員に対する貸付金による支出	△10,000
貸付金の回収による収入	150
その他	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,525

	前年同四半期連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△24,150
自己株式の取得による支出	△5,072
配当金の支払額	△28,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,892
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	△43,566
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	369,315
Ⅵ 現金及び現金同等物の第1四半期末残高	325,749

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期連結会計期間（自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日）

	不動産ソリューション事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	312,487	—	312,487	—	312,487
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	312,487	—	312,487	—	312,487
営業費用	232,365	5,526	237,891	106,235	344,127
営業利益又は営業損失(△)	80,122	△5,526	74,595	△106,235	△31,640

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業部の主な製品

(1) 不動産ソリューション事業：プロパティマネジメント事業、アウトソーシング事業

(2) その他の事業：経営コンサルティング事業、投資事業

3. 営業部門のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であり、当第1四半期連結会計期間は106,235千円であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期連結会計期間（自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前年同四半期連結会計期間（自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。